

伊藤市長の公職選挙法違反
疑惑について説明を

Q 香取市長選挙の際、伊藤友則後援会でFacebookの有料広告を掲載していたと思うが、いかがか。

A 私の記憶では知らないです。

Q Facebookページの管理者はどなたか。

A 当時の事務方がやっていたんじゃないかと思っています。

Q 選挙運動のための有料インターネット広告は、一部を除いて禁止されているが、ご存知か。

A そのあたりの知識は、あまり存じ上げておりませんでした。

Q 令和5年の江東区長選挙では、当選した候補が禁止されている有料広告を掲載した疑いで東京地検特捜部の捜索を受け、その後区長を辞任し、先日有罪が確定した。この事例はご存知か。

A ニュースなどで聞いたことはあると思います。

水郷町利根川堤防に
手すりの設置を

Q 水郷町の利根川堤防階段は7か所あるが、手すりが無い。4か所には横断歩道がある。多くの高齢者の散歩コースであり、病院施設利用者のリハビリ散歩にも活用されている。急な傾斜の階段であり、危険だ。近隣の町内から安全を確保するために手すり設置の要望書が提出されている。一日も早く手すりの設置を。

A 堤防に設置されている階段は河川管理のため、国土交通省利根川下流河川事務所により設置されたものです。当該階段について、香取市ではこれまで、地域住民が堤防上部の道路を利用する際や河川敷緑地に向かう際に利用されていることから、同河川事務所に対し、手すりの設置について、協議を重ねてきたところです。現在の検討状況を確認したところ、同河川事務所において、手すりの設置に向けて調整中であるとの回答をいただいています。引き続き早期の設置に向けて、同河川事務所と協議を進めていきます。

かとう ゆうた
加藤 裕太 議員

Q この事例と同じ禁止されている有料広告にあたる可能性があると思わないか。私は、ちよつと存じ上げないのでわからないです。

子育てしやすいまちの実現を

Q 香取市の出生数、合計特殊出生率の推移は。

A 千葉県衛生統計年度によると、出生数は、令和元年及び令和2年までは、300人以上を保ってききましたが、令和3年261人、令和4年264人、令和5年224人となっています。また、合計特殊出生率は、令和元年1.05、令和2年1.27、令和3年0.97、令和4年1.04、令和5年0.93となっています。

Q アンケートでは、子育てしやすいまちだとは思わない理由として、子どもの遊び場が少ないが最多。公園整備をどのように考えているのか。

A 子どもの遊ぶ場所として、公園等での外遊びは健康を増進させ、情操を豊かに

くぼ そういち
久保木 宗一 議員人間ドック・
带状疱疹ワクチン助成金の増額を

Q 香取市の人間ドック助成金が3万円に對し、神崎町は合計で5万3千円、東庄町は5万5千円、多古町は7万円です。3町と比較し、香取市は低水準です。近隣の自治体並みに助成金の増額を。

A 香取市と近隣の町の人間ドック助成限度額に開きがあることは、認識しています。人間ドック助成金限度額は、それぞれの自治体が主に国民健康保険事業特別会計の財政状況や地域の実情を踏まえて、決定しているものと考えています。香取市としては、それらを考慮した結果、現状としては令和4年度、令和5年度と1万円ずつ増額した3万円を助成限度額としたいと考えています。

Q 带状疱疹ワクチン助成額が、香取市では不活化ワクチンが1回5千円、2回接種で10年間効果がある。生ワクチンは1回2千円となっている。神崎町・東庄町・多古町はどうか。

A 神崎町の不活化ワクチン助成額は、1回1万円を上限に2回まで、生ワクチ

にし、児童の健全な育成にとっても重要であると考えています。香取市の公園施設は、老朽化している公園も多いため、施設の更新や再整備等を検討し、順次実施しています。現在取り組んでいる主な事業は、佐原地区のわんぱく公園及び粉名口児童公園の再整備に向けた設計を行っています。その他の公園についても、遊具などの更新を計画的に実施していきます。

産後ケア事業の内容は。

A 出産後、子育てに不安がある方や育児の疲れから体調がよくない方など、心身のケアや育児のサポートが必要な方に対して、市が委託した医療機関への宿泊や通所により、サービスの提供を受けることができる事業です。出産後1年以内の母子が対象で、事業を利用することが出来る期間は、原則として1回の出産につき宿泊型と通所型でそれぞれ7日以内となっています。事業内容は、お母さんに対する乳房ケアや心身のケア、赤ちゃんの沐浴や体重等発育の確認のほか、育児相談や授乳相談等になります。

Q 誘致が決まっている産科クリニックでは、産後ケアを実施すると伺っています。

A 開設する予定の産科クリニックでは、産後ケアを実施すると伺っています。

ンの助成はありません。東庄町の不活化ワクチン助成額は、1回1万円を上限に2回まで、生ワクチン助成額は4千円を上限に1回までとなっています。多古町の不活化ワクチン助成額は、1回1万円を上限に2回まで、生ワクチン助成額は4千円を上限に1回までとなっています。

意見 近隣では、学校給食費の完全無償化、0歳から2歳の保育料無償化、子ども医療費の完全無償化、独自の出産祝い金・入学祝い金を実施している。若い人達の定住化に積極的な子育て支援を実施すべき。

